

板付遺跡で「秋の収穫体験」を開催します



国史跡板付遺跡「板付弥生のムラ」において、多くの方に弥生時代の生活を知り、文化財についての理解を深めていただくために、復元水田で稲の収穫体験を実施します。

収穫する稲は、本年 6 月に実施した「田植え祭り」に参加した市民の皆さんが植えたもので、現在立派な稲穂が実っています。下記のとおり開催しますので、当イベントの周知ならびに取材方、よろしくお願いいたします。

記

1 開催日時

令和6年10月26日(土) 10:00 開始、12:00 終了予定 ※雨天中止

2 開催場所

福岡市博多区板付 3 丁目 21-1

国史跡板付遺跡「板付弥生のムラ」(別紙地図参照)

※ 当日連絡先: 板付遺跡弥生館 092-592-4936

3 参加者

どなたでもご参加いただけます。申し込み不要。参加費無料。

4 内 容

稲刈り、脱穀体験、勾玉づくり、火起こし体験

※稲刈り体験用以外の稲は事前に刈り取る予定です。

【お問合せ先】

経済観光文化局 文化財活用部 史跡整備活用課 中村・今井

TEL: 092-711-4783(内線 3811) FAX: 092-733-5537

メールアドレス: shiseki.EPB@city.fukuoka.lg.jp

《備考》

【板付遺跡とは】

板付遺跡は、今から約 2 千数百年前、弥生時代前期の V 字形の溝に囲まれた集落を中心に広がる遺跡です。

昭和 51 年に国史跡に指定、昭和 53 年には、わが国最古となる弥生時代はじめの水田跡が発見され、日本における水田稲作の開始を考えるうえで重要な遺跡となっています。

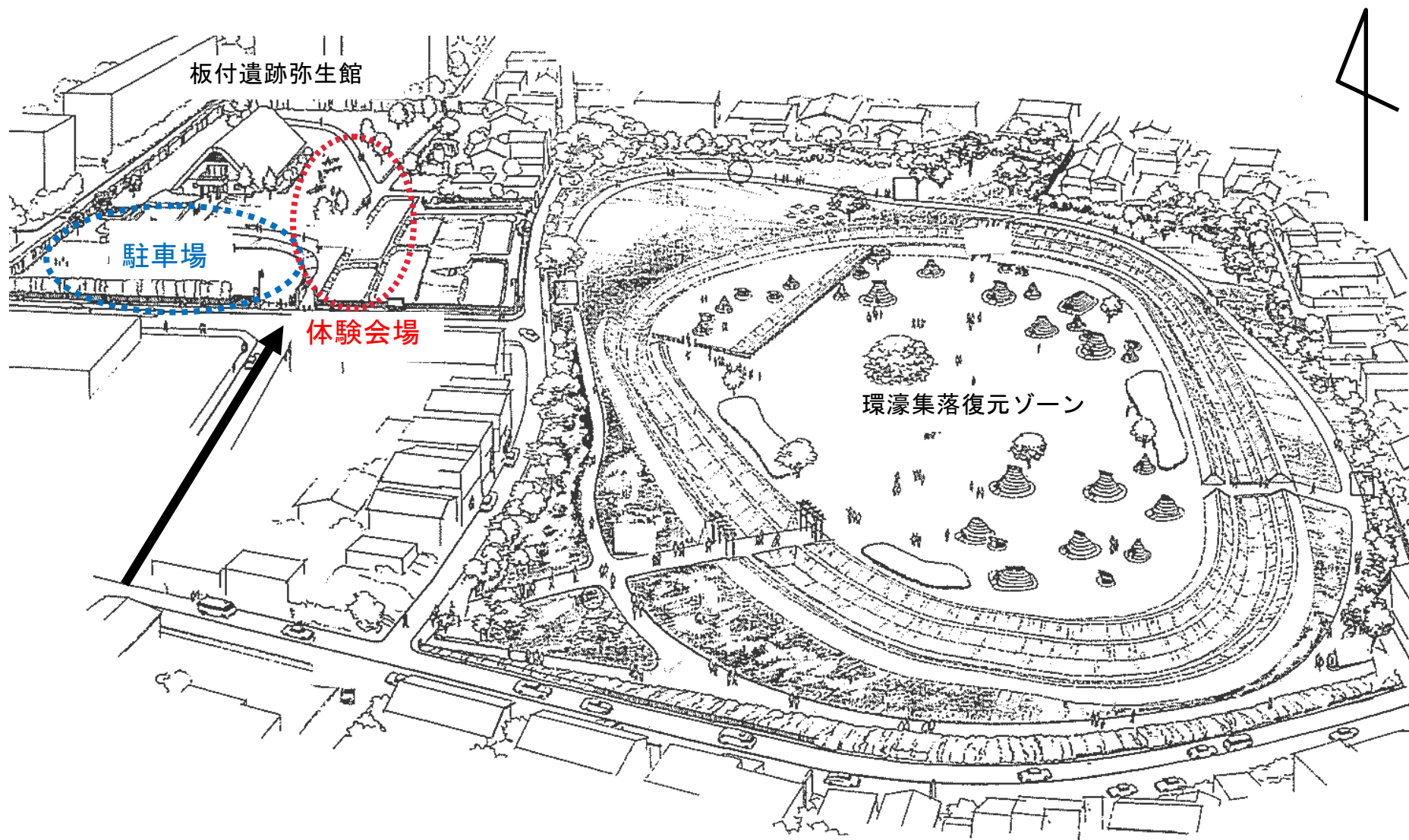
その後、市民に親しまれ、弥生時代を実感できる史跡公園として整備をはじめ、平成 4 年に「板付弥生のムラ」としてオープンしました。

【復元水田と収穫体験】

板付遺跡で昭和 53 年に発見された弥生時代はじめの水田跡をモデルに、水路等を備えた水田 4 枚(約 600 m²)を復元。この復元水田のうち 3 枚を利用して田植えと稲刈り体験を実施しています。(令和 2、3 年度については新型コロナウイルス感染症の影響により市民参加型のイベントは中止)

「秋の収穫体験」は 6 月に「田植え祭り」で市民の皆さんが復元水田に植えた稲を収穫し、今年の豊作に感謝するとともに、脱穀体験や勾玉づくり、火起こし体験を通じて弥生時代の生活に触れていただくイベントです。





会場案内図